【記入例】様式１　平成31年4月～令和2年3月間における体罰の状況

（例1）　私立A中学校の部活動時間中において、40歳代女性教諭が部員である中学校2年生生徒2人及び3年生生徒1人に対して、ラケットで叩いて足に打撲を負わせた。
本人と保護者からの訴えから体罰であると認められ、1回の処分があった。

（例2）　私立B高等学校（全日制・通信制併置）の休み時間中において、50歳代男性教諭Cがスクーリングで登校した1年生生徒（通信制在籍）に対して、態度が悪いため注意をしたが、
指示を聞かなかったため、腕を引いたところ、生徒が転倒し頭を打った。本人の訴え、教員の申告、周りで見ていた生徒からの通報から体罰であると認められ、1回の処分があった。

（例3）　例2から半年経過後、B高等学校2年生生徒（全日制在籍）が教室の窓ガラスを割ったため、放課後に男性教諭Cが別室に指導のため生徒を呼び出した。生徒の態度が悪かったことから、
反省させるために正座をさせた。その際、本人が苦痛を訴えたが、そのままの姿勢を保持させた。本人及び保護者の訴えから体罰であると認められ、1回の処分があった。

国立大学法人名／都道府県名	私立		所属課名	
記入者名		電話番号		e-mail

（単位：人）

| 整理番号 | 当事者の学校種等 | | | | 学校番号 | 被害を受けた児童生徒人数 | | | |